



平成30年5月号 社会福祉法人聖啓会 特別養護老人木一人菜の花

· 藤成 枝30 P. 左

K 年

選手権大会が開催されまし

ーレにおい

藤枝

P K

カイゴ)選手権

Love & Smile」です。菜の花では利用者様に対しを立てていきましたが、念頭に置いていたことはコンテストに参加するにあたり、皆で話し合いプラ すが、菜の花メンバーで課題に取り組み、か、介護の技術を一般の方に伝えるのは難 ロフェッショナルカイゴに参加しました。介護と 家庭的な介 菜の花 かっ

発表できたと思います。 入居者様に寄り添った、家庭的であたたかな介護を からの介護に繋げて行こうと思いました。(沢本)

また、職員同士協力を通じてさらに結束力も高まり 持ちで皆様の生活をご支援しています。今回学んだことを活かし、した。このような機会を与えてい 、今後もあたたかいいただき感謝してお

菜の花作品展を開催しました。

今年も菜の花作品展を開催しました。ユニットやデイサービス、倶楽部の力 作を沢山の方にご覧頂くことができました。ありがとうございました



義なものとなりまし 私達のプランと技能は、見てくださその Love & Smile の気持ちを取ら気持ちと笑顔を常に忘れず取り びつきに

ロフェッショナルな姿を介護技能コンテスト形式でこの大会は、介護・福祉事業に携わる介護職員のプ

る温かな場所であるよう、 護の奥深さを追求する良いきっ 菜の花が笑顔溢れ

開催するものです

民に披露する事により

『介護とは何か』

を考える動

ロフェッショナルカ

参加者より

護士長

佐藤葉子)

ました。 (大塚梢)選手として参加させていただき、貴重な経験となり

護とは何か沢山考

、見てくださった皆気持ちを取り入れ 姿を披露

好きという気持ちと笑顔を常に で考えた私達のプランと技能は で考えた私達のプランと技能は できることができたと思います。 今回の機会は、介

者様が知っていそうなフラダンスの曲や、初めて聞いた曲<mark>にうっと</mark>り和やかな気持ちになり ブルースカイさんによるカラオケがとてもお上手で、みんなで聞き惚れました。



(プロフェッショナル 菜の花の町内、内瀬戸から男<mark>性二人のボ</mark>ランティアが慰問に見えました。出し物は紙芝居に ハーモニカと手品、皆様の目の前で展開する見事な手品には、大きな歓声があがりました。



これもひとえに皆様の温かいご支援・ご理解 を賜りましたおかげと厚く感謝申し上げます。 これからも菜の花が笑顔であふれる場所であ りますように、職員一同努力してまいります。

22 日 絵手紙俱楽部

今月以降の行事予定(現在決定分)

5月21日フルート演奏会

23 日書道倶楽部 ボランティア Fu~風

25 日ボランティア グルーポカーニャ 9月2日敬老会 9月23日菜の花まつり

28 日フルート演奏会

6月8日手芸倶楽部

菜の花をお土産にいただきました。 http://seikeikai.info/ 20 日華道俱楽部

公開資料・菜の花だよりは、ホームページからご覧いただ

うららか・ポカポカで良い気持ちでした。

近所の散歩もまたお花がいっぱいです。

もそろそろ終盤

瀬戸川の土手は、

「ユニット特集」を企画しています。

ニットから順に、(大きな行事などで写真が多い時 特集を組んでいきます。お楽しみに!

発行: 社会福祉法人聖啓会 特別養護者人ホーム菜の花 電話: 054-646-7087 編集:中村

※ そろそろ衣替えです。衣類等の入替えを宜しくお願いします。



寿ユニット入居者様は、とても明るく笑顔がたくさんで、ユニットの雰囲気もゆったり明るい 雰囲気です。皆様のユニットでの過ごし方ものんびり・穏やかです。 職員との話、入居者様同士の会話も多く、新聞折りやタオルを畳んでくれる方もいます。また

レクリエーションにも積極的に参加してくださり、手伝ってくれます。楽しいリクエストもいた だき、ユニットオリジナルのレクリエーションも多いのが寿ユニットの特徴です。



意味 くほっとする・心と身体の健康を回復・大宇宙に充満する命>

5月の Healing は♥「アットホーム」♥です

菜の花の理念の一つでもあるアットホーム(家庭的であたたかな介護)は特養の使命そのものであります。 菜の花のユニットケアは「お客様の尊厳を守り、家族のように気を遣わなくて、何でも言い合える関係、寛げ る居場所」を目標に24時間生活の支援をさせて頂いております。

時にはボランテアの協力、倶楽部活動やレクの参加など日々の暮らしに彩りを添えて楽しみながら、笑顔で暮 らして頂く事が職員の願いです。

今回は4月17日富士ユニットで開催した4月2日生まれの山本裕子様の81歳の誕生会の レクリエーション企画書の報告内容をご紹介します。

「暑い日が続いたのでアイスクリームを皆でトッピングをして食べました。(この日はたまたま肌寒く企画は少 し失敗でしたが) その後バースデイソングを歌い皆でおめでとうの拍手をしたら、山本様ご自身が一番大きな拍 手をしてくれました。ご自分の誕生日を覚えていらした様です。皆様アイスクリームは美味しいと全部召し上が って下さいました」大きな拍手に気づいた介護職は"あっぱれ"です。

菜の花では朝10時にラジオ体操の曲を流しています。その日の歴史的なエピソードとその日の誕生日の 入居者様のお名前を全館に放送し皆でお祝いの拍手を送ります。事務職員が交代で"その日は何の日"と結構 素敵な内容で"そんな事もあった日なんだ"等とその日の担当職員のセンスが光るアットホームなひと時です。







